

VTB 4 チェック

RCE Limited モデルの VTB チェック



「VTB 4 チェック」は、規制上の制限の対象となる電動 RC モデルのトラック上での迅速なチェックのために、すべての愛好家が利用できる価値生成ツールです。制限は次のとおりです。

「n」 エンジン回転数と「n」 FDR 値から。

これら 2 つの値を発電機の関連フィールドに挿入し、トラクションの種類を (チェック マークで) 指定するだけで十分です。これにより、すべての生産、機械的、およびすべてのホイール rpm を含む「モデルのホイール rpm の最大制限値」を取得できます。電子公差、および VTB サーバーによって現在まで取得されている、ESC によって合法的に実行できるすべての調整の可能性。結果は、検証されたすべてのモデルが必ずその範囲内に収まる必要がある制限値になります。

注: したがって、この計算操作はレース前に行うことができ (推奨されます)、イベント中にトラック上のコントロール測定値の客観的で最新の基準値を得ることができます (検証される測定値のモデル化には約 1 分かかります)。何も解体する必要はありません)。

ここでは、17,500 rpm に制限された 17.5T エンジンと最小 FDR 比 5.50 を備えたカテゴリ 4 WD の例を使用して、(レーザー速度計を使用して) サーキット上で迅速かつ実用的なチェックを行うためのいくつかの指標を示します。

最初のステップ - VTB Web サイトの [ダウンロード] > [セットアップ] セクションで PDF 「VTB for checks Sheet」をダウンロードします。

VTB 4 Checks

DATE:	TRACK:				
EVENT:					
CATEGORY:	MOTOR TURNS:	2WD <input type="checkbox"/>	4WD <input type="checkbox"/>		
LIMIT RPM MOTOR:	LIMIT FDR: _____, _____				
VTB LIMIT WHEEL: _____					
RACE EXAMINER: _____					
DRIVER	N° #	SESSION	CHECK RPM	✓ OK	TEST X NO

2 番目のステップ - VTB 個人エリアに入り、「VTB 計算機」セクションにアクセスし、「VTB 4 チェック」パネルまでスクロールします。ここで、必要なホイール rpm 制限値を確立できます。

3 番目のステップ - 必要な主なデータを入力します。トラクションのタイプ (4WD)、レギュレーターに設定された最大 rpm 値 (17500)、および規制上の最小値と等しい FDR 値 (5.50)。

「計算」ボタンを押すと、必要なホイール回転数の制限値が得られます。

VTB 4 Checks

Calcola

Trazione: 2WD 4WD

Rpm motor limite:

FDR Minimo limite:

Rpm Ruota Max in verifica VTB: 3243.0140909091

「VTB チェック」シートの適切なボックスに値を書き込みます。

VTB LIMIT WHEEL: _____

3243

次に、イベントに関連する他のすべてのフィールドに入力します。これにより、レース ディレクションがその日のすべてのチェックを記録し、すべての競技者に公式に表示するために使用できるようになります。

01

VTB4 Checks

DATE: 24/03/2024 TRACK: Ministadromo ACE
cicla ADUANE

EVENT: TT-02 Stock club 3° round

CATEGORY: Touring MOTOR TURNS: 17.5 2WD 4WD

LIMIT RPM MOTOR: 17.500 LIMIT FOR: 5.50

VTB LIMIT WHEEL: 3.243

RACE EXAMINER: Naldini GH

DRIVER	N° #	SESSION	CHECK RPM	✓ OK	TEST X NO
Naldini GH		PRE POLE	3.165	✓	
BALDONI G.		PRE POLE	3.166	✓	
CASTI G.		PRE POLE	3.168	✓	
GRIF. UMBE		PRE POLE	3.179	✓	
TORNABONI P.		PRE POLE	3.204	✓	
MARION		PRE POLE	3.197	✓	
PSYCO MAX		PRE POLE	3.179	✓	
PEGULLO		PRE POLE	3.167	✓	
CASTI		2° FINALE	3.158	✓	

NOTE _____

4番目のステップ - レースチェック中は、反射ステッカーを駆動輪に貼り付けるだけで十分です（実用性を考

慮して、反射ステッカーがすでに配置されているゴム弾性体をタイヤの周囲に取り付けることをお勧めします)。起動します。エンジンを徐々に最大回転数まで上げ、フル回転数で 2 ~ 3 秒間維持し、その後ガスを放出して測定値を読み取る間、エンジンをアクティブにしておくことで測定を行います。

最大読み取り値は、VTB によって生成される制限値よりも低くなければなりません。

=====

さらに詳しい情報：

これが当てはまらず、VTB 制限よりも高いホイール rpm 値が得られる場合、この不一致にはいくつかの理由が考えられます。

1. ****レーザー速度計の不正確さ****: レーザー速度計は完全に正確ではないか、正しく校正されていない可能性があります。実際の車輪速度よりわずかに高いか低い読み取り値が得られる可能性があります [他のモデルでの正しい動作を確認してください]。

2. ****測定エラー****: ベンチテストの実行時またはレーザー速度計の使用時にエラーが発生し、車輪速度が不正確に測定される可能性があります。 【繰り返し測定】

6. ****計算エラー****: エンジン RPM リミッターおよび/または最終ギア比に基づく車輪速度の計算に「エラー」が存在する可能性があります。

[この場合、レースディレクションは、おそらく次の 2 つのステップに限定される「エラー」を探すために、より詳細なチェックを進めることが必須です。

最初のステップ - ESC の「点滅コード」が必要な rpm 制限と同等であることを確認します。

第 2 ステップ - ESC が通常の場合、PDR (z クラウン: z ピニオン) の計算用のクラウンとピニオンの歯数、およびディファレンシャル リングとプーリーの歯数を数えることによって進みます。 DTR 計算用のカルダン (z リングナット: z プーリーまたはカルダンシャフト); PDR の計算を続行します

[すべての制御が準拠していれば、0.001%、つまり世界で最もパフォーマンスの高い準拠モデルに直面することになります]。